

学校教育目標	～笑顔いっぱい 夢いっぱい 未来を創る東っ子～ ○学ぶ楽しさを知り、粘り強く学習に取り組む子を育てます。(知) ○自分と友だちを大切に、豊かな心をもった子を育てます。(徳) ○心と体を鍛え、自ら心と体の健康づくりを進んでする子を育てます。(体) ○「まち」とのふれあいを大切にし、共に生きる子を育てます。(公) ○さまざまな社会の変化に、柔軟に対応できる子を育てます。(開)				
	創立 22 周年 児童生徒数: 789 人	学校長 宮本 仁志	副校長 山田和仁	2 学期制	一般学級: 24 個別支援学級: 4
学校概要	主な関係校: 茅ヶ崎小 茅ヶ崎台小 茅ヶ崎中				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	茅ヶ崎中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
《問題発見・解決》  《心身たくましく生きる力》  《自分づくりに関する力》	茅ヶ崎東小 茅ヶ崎小 茅ヶ崎台小 茅ヶ崎中	・主体的に学習し、伝え合いながら学びを深める子ども(コミュニケーション力) ・協働的に解決策を見出し、実行する子ども(問題発見・問題解決能力) ・地域と自らかかわり、支え合う子ども(社会生活との関わり)  《授業研テーマ》 「魅力ある茅ヶ崎中学区をめざして～」 ・年2回の授業参観、研究協議会の設定 ・年1回の職員交流会(R4年度は見送り) ・年2回(合唱交流・部活動見学会)での児童生徒同士の相互理解 ・年5回のコアメンバーによる推進協議会

中期取組目標	○全職員が学校経営に主体的に参画し、児童や保護者、地域から信頼される楽しく豊かな学校づくりを目指します。 ・一人ひとりの子どもが、学習の楽しさを実感しながら、主体的に問題解決に取り組む授業を推進し、学力の向上を図ります。 ・一人ひとりの子どもが、自己有用感をもち、自他との違いを認め、大切にしながら安心して学校生活が送れるようにします。 ・小中一貫ブロック校や家庭、地域と連携して、地域の中でともに子どもを育む学校づくりを進めます。
--------	---

重点取組分野		具体的取組
知	確かな学力	①児童の実態をもとに教材研究を丁寧に行い、学習内容、学習方法、指導のねらいなどについて共通理解を図っていく。②学習計画を児童と考え、児童一人ひとりが学習のめあてを意識して学習に取り組ませることで主体的な学びを構築し、資質、能力の育成を図るようになる。
担当	重点研推進委員会	
徳	豊かな心	①児童活動やペア活動など異年齢活動をさらに充実させていくようにする。地域や保護者、福祉施設などの関わりを大切にするとともに、思いやりの心や自己有用感を味わう場や機会をもつようにする。③子どもの実態をもとに特別な教科「道徳」の指導の充実を図る。
担当	道徳部	
体	健やかな体	①委員会活動を中心とした体力向上の取組では、学年に応じて誰でも取り組める運動を取り入れていく。また、地域ボランティアやPTAと連携した「いきいきキッズ」の活動でも引き続き、児童の体力の向上を図っていく。②新体力テストの記録を児童が活用することで、自分自身の問題ととらえ、さらなる実践につなげていく。
担当	体育部	
公	地域連携	①学校支援ボランティアを中心として、地域の方々とのつながりを大切にし、様々な機会でも地域との関わりをもつことができるようにする。②学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの学びにつなげるとともに、さらなる教育環境の充実を図るようになる。
担当	児童支援・人権・福祉・地域	
いじめへの対応		①「たいせつ あなたも わたしも みんなたいせつ」を常に意識した学校風土をつくり未然防止に努める。②児童面談やアンケートを行い早期発見に努める。③いじめの疑いがあれば「学校いじめ防止対策委員会」を即時開き、チームでの支援体制を整える。④再発防止に向けて関係機関も含め共有する。
担当	児童指導部	
人材育成・組織運営(働き方)		①職員会議でどんな授業や学級経営を学年で行ってきたのか「実践シェアタイム」を設けて情報共有する。②夏休み等を活用して様々な研修を行い、教師力の向上を図る。③教職員全員がそれぞれの役割を自覚し、機能できるような組織の構築、改革に努め、会議や研修の在り方、内容を整理し、働き方改革につなげる。
担当	教務部	
地域学校協働活動		①地域学校協働本部と連携をとりながら、子どもたちの学習支援、教育環境の整備を行っていくようにする。②令和4年10月設置された学校運営協議会の意見を今後の学校運営に反映させながら教育活動を推し進めていくようにする。
担当	教務部	
	a13	b8
担当		
	a14	b9
担当		
	a15	b10
担当		